

集会アピール

今、学校は大ピンチである。

「4月に担任がいらない」、「代替教職員が見つからない」、「新採用者が辞めていく」、「育児休暇が取れない」、「教育実習を終えた学生が教職への夢を断念していく」。日教組の投稿フォームには、現場からこんな声が届く。教職員不足は深刻さを増しており、全国的な課題となっている。

「年々忙しさが増している」、「働き方改革がすすんでいる実感は全くない」、「子どもと話す時間がない」、「残業をしないと到底終わることができない仕事量」。長時間労働は少しも改善されていない。さらに、「この先もずっとこの仕事を続けていけるのだろうか」、「もう長時間労働に疲れたので、別の仕事を探します」との声まであがっている。持続可能な学校とは到底言えない。

長時間労働で心身とも疲弊している教職員。「授業準備をしっかりとしたい」、「わかる授業をしたい」、「子どもともっと向きあいたい」。そんな教職員の思いはかなえられず、子どもたちの学びにも大きく影響している。今、子どもたち、教職員が、そして学校教育そのものが危機にさらされている。業務を大幅に削減するとともに、教職員定数の改善をはじめとした人を増やすことなしに、この危機は解消されない。

「まず何よりも、長時間労働を是正してほしい」とは、これからの中教審議論に対する現場の切なる願いであり、そもそも、長時間労働是正のための給特法の見直しは当然である。「教職員の人権を守ってほしい」、「人らしい生活がしたい」。そんな声を中教審へ届け、働き方改革の具体策が議論されることを期待したい。

日教組は、持続可能な学校を実現するため、授業準備のための時間確保や教職員・スタッフの配置拡大、学習指導要領の見直しなどを7つの緊急提言としてまとめた。子どもたちのゆたかな学びと教職員のいのち・健康を守るため、緊急提言の実現にむけ、全国連帯のもと、現場の声を国・社会に届け、多くの人々との対話を通してとりくむことをここに宣言する。

2023年7月27日

「今、学校が大ピンチ！」日教組働き方改革中央集会参加者一同